



平成 28 年 6 月 29 日

各 位

会 社 名 日本無線株式会社
代表者名 代表取締役社長 荒 健次
(コード：6751 東証第一部)
問合せ先 執行役員 経営戦略本部副本部長
小宮 孝之
(TEL. 03-6832-0455)

(訂正・数値データ訂正)「平成 28 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 28 年 5 月 10 日 17 時 00 分に発表した「平成 28 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。訂正箇所は、下線~~を~~を付して表示しております。なお、財務諸表の数値データ(XBRL)にも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信しております。

記

1. 訂正の理由

サマリー情報「1. 平成 28 年 3 月期の連結業績 (3)連結キャッシュ・フローの状況」、および添付資料「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (2)財政状態に関する分析 ②キャッシュ・フローの状況に関する分析」、「5. 連結財務諸表 (4)連結キャッシュ・フロー計算書」ならびに「5. 連結財務諸表 (5)連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」に、一部記載の誤りがあったため訂正するものです。

2. 訂正の内容

サマリー情報

(3)連結キャッシュ・フローの状況

<訂正前>

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
28 年 3 月期	758	△5,771	5,230	<u>4,622</u>
27 年 3 月期	3,522	△3,853	455	3,786

<訂正後>

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
28 年 3 月期	758	△5,771	5,230	<u>4,602</u>
27 年 3 月期	3,522	△3,853	455	3,786

添付資料 4ページ

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

<訂正前>

現金および現金同等物の期末残高は、営業活動で 758 百万円増加、投資活動で 5,771 百万円減少、財

務活動で 5,230 百万円増加等により前期末残高に比べ 75 百万円減少したものの、長野日本無線(株)およびその子会社と上田日本無線(株)の新規連結による 910 百万円の増加があり、4,622 百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が 3,030 百万円となり、たな卸資産の増加 1,906 百万円や仕入債務の減少 11,825 百万円があったものの、売上債権の減少 11,331 百万円等により 758 百万円増加しました（前期は 3,522 百万円の増加）。

<訂正後>

現金および現金同等物の期末残高は、営業活動で 758 百万円増加、投資活動で 5,771 百万円減少、財務活動で 5,230 百万円増加等により前期末残高に比べ 75 百万円減少したものの、長野日本無線(株)およびその子会社と上田日本無線(株)の新規連結による 890 百万円の増加があり、4,602 百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が 3,030 百万円となり、たな卸資産の増加 1,906 百万円や仕入債務の減少 11,795 百万円があったものの、売上債権の減少 9,965 百万円等により 758 百万円増加しました（前期は 3,522 百万円の増加）。

添付資料 14 ページ

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

<訂正前>

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日)	(自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	15,519	3,030
(中略)		
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,444	<u>11,331</u>
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,010	<u>△1,906</u>
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,178	<u>△11,825</u>
前受金の増減額 (△は減少)	376	<u>△950</u>
その他	△1,203	<u>2,029</u>
小計	4,109	3,744
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,522	758
(中略)		
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	112	<u>910</u>
現金及び現金同等物の期末残高	3,786	<u>4,622</u>

<訂正後>

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日)	(自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	15,519	3,030
(中略)		
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,444	<u>9,965</u>
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,010	<u>△1,906</u>
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,178	<u>△11,795</u>
前受金の増減額 (△は減少)	376	<u>△1,160</u>
その他	△1,203	<u>3,575</u>
小計	4,109	3,744
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,522	758
(中略)		

新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	112	890
現金及び現金同等物の期末残高	3,786	4,602

添付資料 15ページ

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

<訂正前>

(中略)

これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

<訂正後>

(中略)

この結果、当連結会計年度の営業利益、経常利益および税金等調整前当期純利益はそれぞれ 107 百万円減少しております。

以 上